

令和7年3月会議
一般質問 参考資料

東芝 弘明 議員

高齢者の難聴 ほぼ半数の人が悩んでいる

加齢性難聴とは、加齢に伴い音を感じる部位に障害がおり、聴力の低下によって発生する障害で、40歳代からはじまり 75歳以上では約半数が難聴に悩んでいるといわれています。

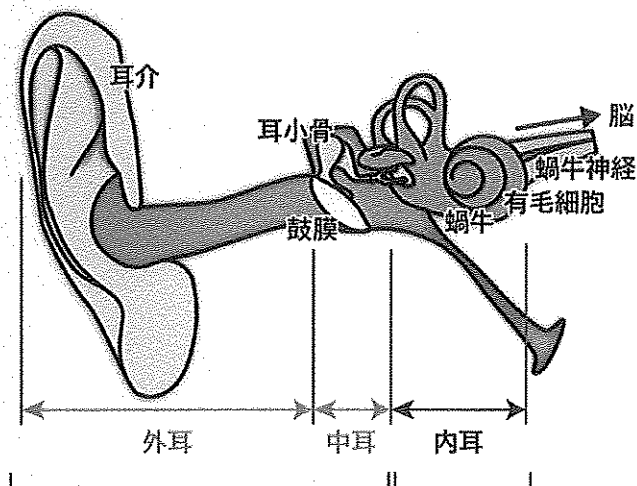
こうした難聴の影響は、危険の察知や家族や友人とのコミュニケーションがうまくいかなくなるとともに、孤立し、うつ状態や認知症の発症リスクを大きくするともいわれています。

(高知県医療生活協同組合作成の首長宛請願より)



難聴とは何か

- 外耳、中耳に原因のある伝音(てんおん)難聴
- 内耳、蝸牛神経、脳に原因のある感音(かんおん)難聴
- 伝音難聴と感音難聴の2つが合併した混合(こんごう)性難聴



加齢によって
音を感知する
細胞の数が減る

難聴の原因には病気によるものもあるので、勝手に決めつけず医師の診断を受けよう。

外耳から中耳の問題
伝音難聴

内耳・蝸牛神経・脳の問題
感音難聴

2つが合併した
混合性難聴

補聴器の
装用が大切

感音難聴は、内耳、蝸牛神経、脳の障害によって起こります。急性に生じる突発性難聴などや慢性的に生じる騒音性難聴・加齢性難聴、生まれつきの先天性難聴などがあります。急性難聴は早期の薬物治療等で改善することもあります。また騒音性難聴は予防が重要になります。加齢性難聴などは現在は治療は困難ですが、補聴器で聞こえを補うことで、認知症予防、生活の質を改善させることができます。また、重度難聴の方には人工内耳手術を行うことで聞こえが戻る可能性があります。

(高知県医療生活協同組合

「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の実現を」より)

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書

現在、国の補聴器購入への助成は、身体障害者福祉法第4条に規定する身体障害者で、障害者手帳を持つ両耳の平均聴力レベルが70デシベル以上の高度・重度難聴者が対象である。41デシベル以上の中等度以下の難聴者の補聴器購入には助成制度がなく、補聴器は3万円以上と高額で、生活に支障を来す加齢性難聴者がふえている。

加齢性難聴は日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因となっており、最近では、鬱や認知症の危険因子になることも指摘されている。

日本の難聴者率は欧米諸国と大差がないにもかかわらず、補聴器使用率は欧米諸国と比べて低く、日本での補聴器普及のおくれが指摘されている。

日本において補聴器の価格は高額であるが、保険適用とはなっていない。重度難聴の場合の補装具支給制度の対象になれば1割の自己負担で購入できるが、中等度以下の場合、購入後に医療費控除を受けられるものの、控除額は僅少であり高額な自己負担が伴う。また、低所得者にとっては、補聴器の購入そのものが困難と言わざるを得ない。

欧米では、補聴器購入に対し公的補助制度があり、日本でも、一部の自治体で高齢者の補聴器購入に対し補助を行っている。

補聴器のさらなる普及は、高齢になっても生活の質を落とさず心身とも健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながるものと考えられる。

よって、国におかれては、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設することを強く求める。

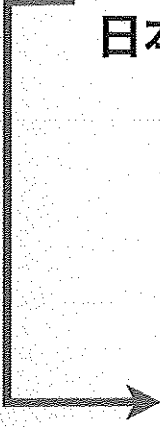
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

高知県議会議長 桑 名 龍 吾

衆議院議長	}	様
参議院議長		
内閣総理大臣		
財務大臣		
厚生労働大臣		
全世代型社会保障改革担当大臣		

高知県議会：2019.06.28 決議

世界保健機関の基準では41デシベルから聴覚障害者 日本は国際基準から立ち後れている



難聴の程度	聴力レベル	聞こえの障害の状況	障害手帳の等級
軽度難聴	26～39dB	対面の会話, 大きめの会話は可能. 小さな声・騒音下・集団内での 聞き誤り, 聞き逃しがある.	該当しない
中等度難聴	40～69dB	近くでの大きめの会話は可能. 聞き誤りが増える. 近くの自動車の音にやっと気づく.	該当しない
高度難聴	70～89dB	耳元での大きめの声は聞こえる. 読話併用が効果的になる.	70dB～ 6級 80dB～ 4級
重度	90～99dB	補聴器装用により音や声は聞こえるが 言葉の認識は難しい 日常音はほとんど聞こえない.	90dB～ 3級
最重度	100dB以上	耳元での大きめの声が聞こえない. 自分の声が聞こえない.	100dB～ 2級

厚生労働省「身体障害者障害程度等級表」より

聴覚障害の定義が抱える矛盾のもう1点は、表1の6級の区分にあるように、聴覚障害の認定基準が福祉先進国と比べて非常に厳しいことである。世界保健機関（WHO）は、平均聴力レベルが良耳41デシベルから福祉サービスを必要とする聴覚障害をもつ者という基準を提唱している。これは1m離れた距離での普通話声を理解できるレベルであり、本邦における労働基準法の障害補償でも第11級が該当している（表1）。しかし、身体障害者福祉法による障害程度等級には該当する区分が存在しない。両耳の平均聴力レベルが40～69デシベルの難聴者等は補聴器や文字による情報保障を必要とする人たちが多くにもかかわらず、必要な福祉サービスを受けられないでいる。

全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（以下「全難聴」）は、このような福祉の谷間にいる難聴者等の人口を約600万人と推定しており、彼らにも福祉サービスを提供するよう要請活動を行っている。

欧米の福祉先進国では福祉サービスにおいて等級による区別はなく、社会生活や日常生活の不自由度を基準にしている。従って、より軽度の20～40デシベルの難聴者等も必要に応じて福祉サービスを受けることができる。本邦の障害者に対する福祉施策の歴史からして等級および障害程度区分の撤廃は困難かもしれないが、聴覚障害認定基準の緩和や障害者手帳を持たない難聴者等に対しても、必要に応じて提供できるより柔軟な福祉サービスシステムの構築が、非常に大切なのではないかと考える。

「ノーマライゼーション 障害者の福祉」 2007年8月号
障害の定義から生じる難聴者・中途失聴者の現状と課題より

2021年9月

宮井健次議員の一般質問後

高齢者の難聴者に対する

補聴器購入補助は、どう検討されたのか

	和歌山県	全国
2021年9月質問当時	0	40
2024年10月31日現在	6	372

宮井議員（当時）に対する町長の答弁

町内の難聴者の人数について、生活機能チェックの質問事項に加え、そしてその実態の把握に努め、その上で検討していく、これが今の考えでございます。

和歌山県内の補聴器補助の状況

	年齢	補助金上限	対象	聞こえの基準（デシベル）
紀美野町	65歳以上	2万円	住民税非課税	医師の診断
すさみ町	18歳以上	2万円	所得制限なし	聴覚障がい身体障害者手帳の交付対象ではない方
和歌山市	65歳以上	2万円	住民税非課税世帯	50以上70未満
印南町	65歳以上	2万円	税、保険料の滞納がない人	聴覚障害による身体障害者手帳の交付対象とならない方
新宮市	65歳以上	2万円	住民税非課税世帯	40以上70未満
有田市	65歳以上	4万円	住民税非課税の人	聴覚障害による身体障害者手帳の交付対象とならない方

提案

65歳以上の高齢者の難聴者に対する補聴器購入補助制度の導入

1. 対象年齢 65歳以上
2. 補助上限 5万円（耐用年数が過ぎて以後、再度購入時にも補助対象に）
3. 所得制限なし
4. 40デシベル以上70デシベル未満（70デシベル以上の音が聞こえない人は、障害者手帳による補助制度がある）
5. 「補聴器は豊かな人生への橋渡し」などの名称で公開講座の実施を繰り返す

令和4・5・6年度 施設別児童数 (3/1現在)

【令和4年度 2023年3月1日現在】

(単位:人)

施設名	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
佐野こども園	260	17	28	44	45	40	45	219
三谷こども園	200	14	23	36	42	29	48	192
聖心幼稚園	35			0	8	3	10	21
計	495	31	51	80	95	72	103	432

【令和5年度 2024年3月1日現在】

(単位:人)

施設名	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
佐野こども園	260	17	29	38	49	50	42	225
三谷こども園	200	13	26	27	40	42	32	180
聖心幼稚園	25			2	9	3	3	17
計	485	30	55	67	98	95	77	422

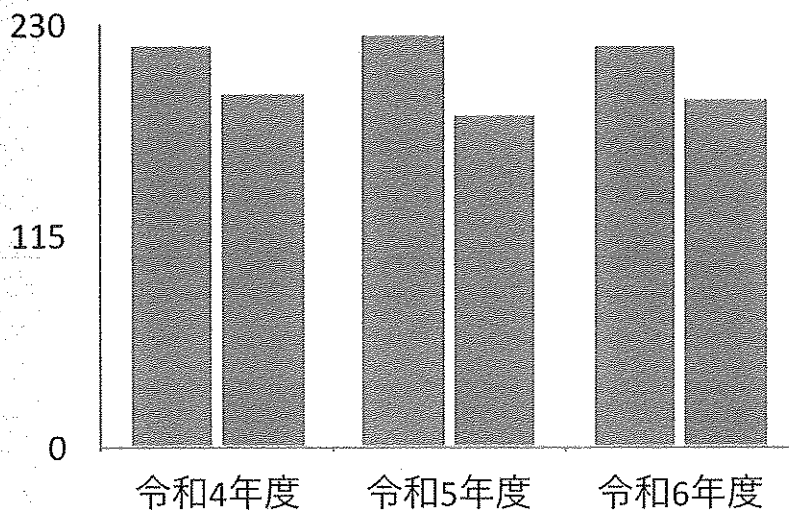
【令和6年度 2025年3月1日現在】

(単位:人)

施設名	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
佐野こども園	260	17	27	34	46	46	48	218
三谷こども園	200	14	22	35	32	43	44	190
聖心幼稚園	25			3	3	9	3	18
計	485	31	49	72	81	98	95	426

(教育総務課提出の資料から作成したもの)

■ 佐野こども園 ■ 三谷こども園



この3年間は
ほぼ横ばい

こども園の定員と園児数、その比率（2018年9月1日現在）

	佐野こども園			三谷こども園		
	定員	園児数	比率	定員	園児数	比率
0歳児	17	12	70.6%	13	3	23.1%
1歳児	28	27	96.4%	22	26	118.2%
2歳児	40	47	117.5%	30	40	133.3%
3歳児	57	59	103.5%	43	47	109.3%
4歳児	59	56	94.9%	46	47	102.2%
5歳児	59	56	94.9%	46	58	126.1%
計	260	257	98.8%	200	221	110.5%

こども園の定員と園児数、その比率（2025年3月1日現在）

	佐野こども園			三谷こども園		
	定員	園児数	比率	定員	園児数	比率
0歳児	17	17	100.0%	13	14	107.7%
1歳児	28	27	96.4%	22	22	100.0%
2歳児	40	34	85.0%	30	35	116.7%
3歳児	57	46	80.7%	43	32	74.4%
4歳児	59	46	78.0%	46	43	93.5%
5歳児	59	48	81.4%	46	44	95.7%
計	260	218	83.8%	200	190	95.0%